

ミャンマーにおける核黄痘撲滅プロジェクト

医療技術等国際展開推進事業（2017-2019）

The International Promotion of
Japan's Healthcare Technologies and Services

プロジェクトの目的

ミャンマー：重症新生児黄疸（核黄疸）による死亡や予後不良が多い

日本:

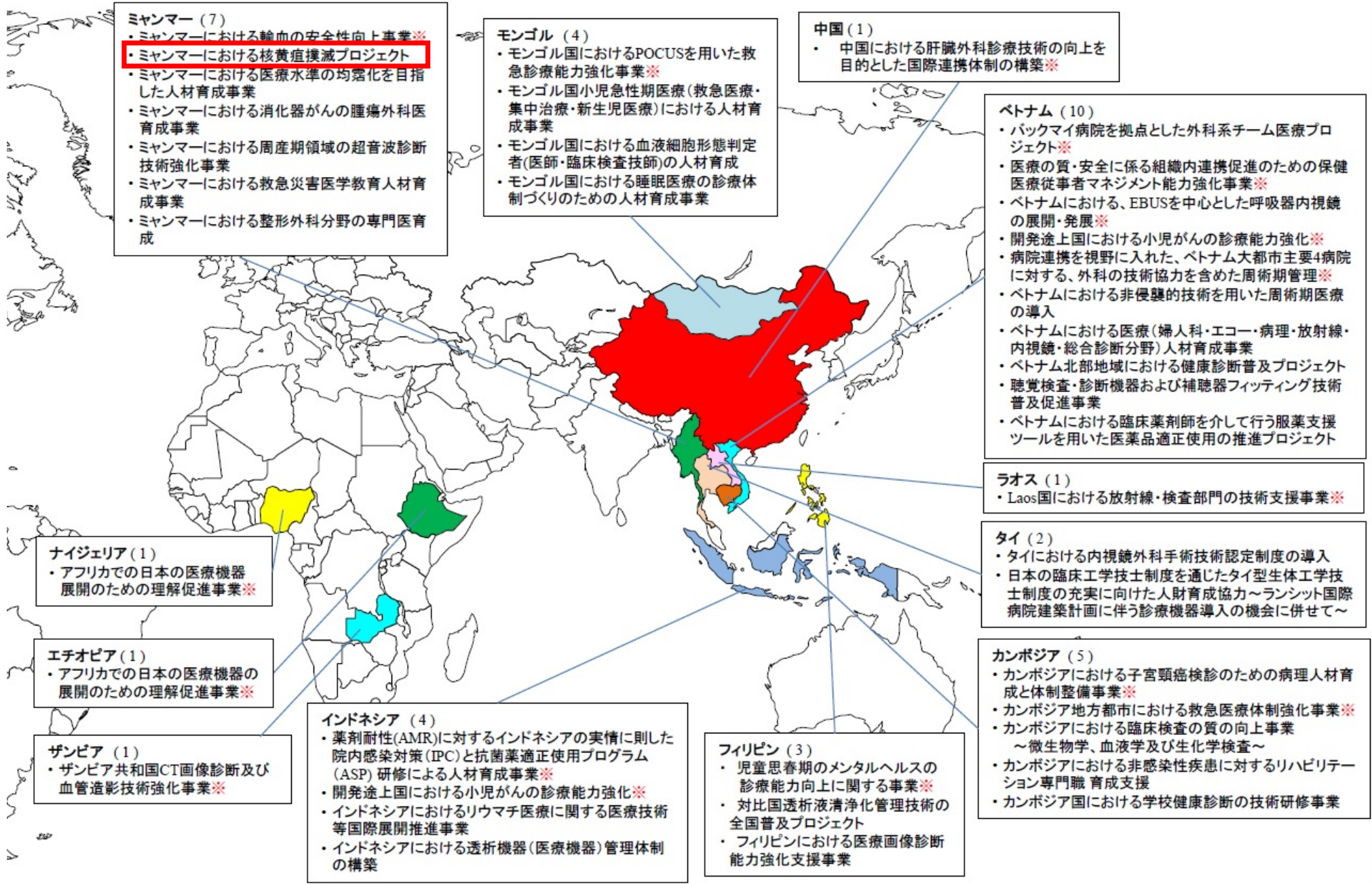
日本製経皮黄疸計と新生児黄疸ノモグラム

の組み合わせによる早期スクリーニングにより重症例は稀

日本の機械、システムを使って
現地でも導入可能な方法（コスト、手間）



持続可能な医療貢献を行う！



ミャンマー (7)

- ・ミャンマーにおける輸血の安全性向上事業※
- ・**ミャンマーにおける核黄疸撲滅プロジェクト**
- ・ミャンマーにおける医療水準の均等化を目指した人材育成事業
- ・ミャンマーにおける消化器がんの腫瘍外科医育成事業
- ・ミャンマーにおける周産期領域の超音波診断技術強化事業
- ・ミャンマーにおける救急災害医学教育人材育成事業
- ・ミャンマーにおける整形外科分野の専門医育成

モンゴル (4)

- ・モンゴル国におけるPOCUSを用いた救急診療能力強化事業※
- ・モンゴル国小児急性期医療(救急医療・集中治療・新生児医療)における人材育成事業
- ・モンゴル国における血液細胞形態判定者(医師・臨床検査技師)の人材育成
- ・モンゴル国における睡眠医療の診療体制づくりのための人材育成事業

中国 (1)

- ・中国における肝臓外科診療技術の向上を目的とした国際連携体制の構築※

ベトナム (10)

- ・バックマイ病院を拠点とした外科系チーム医療プロジェクト※
- ・医療の質・安全に係る組織内連携促進のための保健医療従事者マネジメント能力強化事業※
- ・ベトナムにおける、EBUSを中心とした呼吸器内視鏡の展開・発展※
- ・開発途上国における小児がんの診療能力強化※
- ・病院連携を視野に入れた、ベトナム大都市主要4病院に対する、外科の技術協力を含めた周術期管理※
- ・ベトナムにおける非侵襲的技術を用いた周術期医療の導入
- ・ベトナムにおける医療(婦人科・エコー・病理・放射線・内視鏡・総合診断分野)人材育成事業
- ・ベトナム北部地域における健康診断普及プロジェクト
- ・聴覚検査・診断機器および補聴器フィッティング技術普及促進事業
- ・ベトナムにおける臨床薬剤師を介して行う服薬支援ツールを用いた医薬品適正使用の推進プロジェクト

ラオス (1)

- ・Laos国における放射線・検査部門の技術支援事業※

タイ (2)

- ・タイにおける内視鏡外科手術技術認定制度の導入
- ・日本の臨床工学技士制度を通じたタイ型生体工学技士制度の充実に向けた人材育成協力～ランシット国際病院建築計画に伴う診療機器導入の機会に併せて～

カンボジア (5)

- ・カンボジアにおける子宮頸癌検診のための病理人材育成と体制整備事業※
- ・カンボジア地方都市における救急医療体制強化事業※
- ・カンボジアにおける臨床検査の質の向上事業～微生物学、血液学及び生化学検査～
- ・カンボジアにおける非感染性疾患に対するリハビリテーション専門職 育成支援
- ・カンボジア国における学校健康診断の技術研修事業

フィリピン (3)

- ・児童思春期のメンタルヘルスの診療能力向上に関する事業※
- ・対比国透析液清浄化管理技術の全国普及プロジェクト
- ・フィリピンにおける医療画像診断能力強化支援事業

インドネシア (4)

- ・薬剤耐性(AMR)に対するインドネシアの実情に則した院内感染対策(IPC)と抗菌薬適正使用プログラム(ASP)研修による人材育成事業※
- ・開発途上国における小児がんの診療能力強化※
- ・インドネシアにおけるリウマチ医療に関する医療技術等国際展開推進事業
- ・インドネシアにおける透析機器(医療機器)管理体制の構築

ナイジェリア (1)

- ・アフリカでの日本の医療機器展開のための理解促進事業※

エチオピア (1)

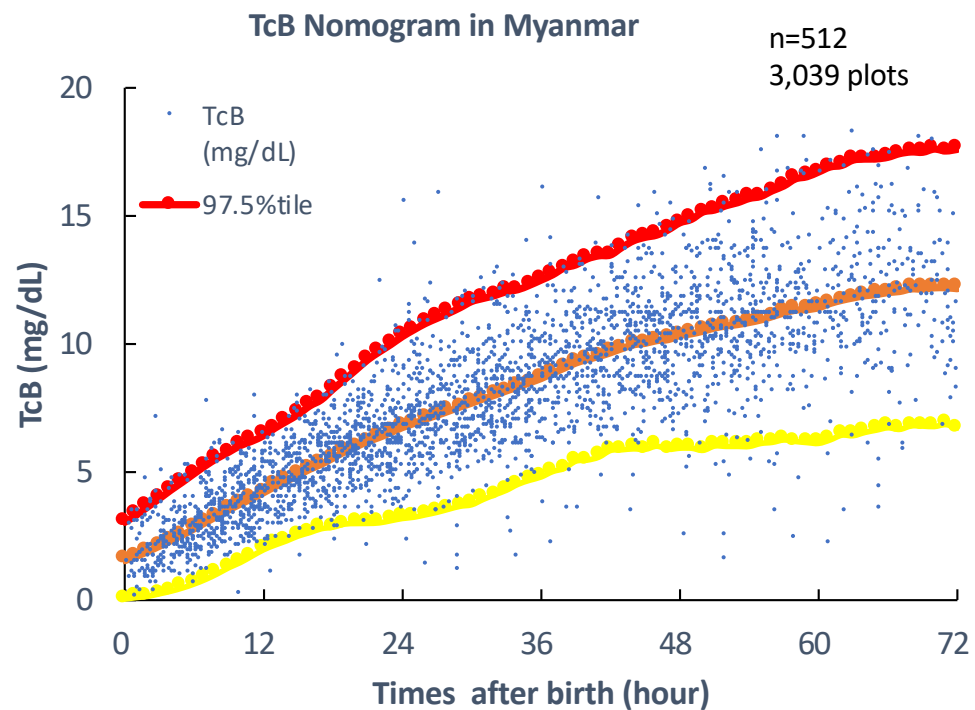
- ・アフリカでの日本の医療機器の展開のための理解促進事業※

ザンビア (1)

- ・ザンビア共和国CT画像診断及び血管造影技術強化事業※

2017年

- ミャンマー小児科学会など現地との協力体制構築
- ミャンマー倫理委員会での許可
- Nomogram作成のためのデータ採取



2018年

- ミャンマー人nomogramを元に
現地で日本式スクリーニング実施
- ミャンマースタッフの訪日視察



2019年

- 日本式新生児黄疸スクリーニングをヤンゴン市内の病院に拡大
- 黄疸計11台寄附セレモニー
- ミャンマー人新生児黄疸ノモグラムの論文化



成果

それぞれ1月から6月までの6ヶ月間のデータ

	旧式管理（2016年）	日本式管理（2019年）
出生数	7,155	5,712
生産児	7,027	5,605
交換輸血	20	1

Odds ratio: 16.0 (2.0 to 166.9) p value: 0.0003

スクリーニングシステム構築により
交換輸血（コスト、リスクの高い治療方法）の減少

今後の目標

- ミャンマー小児科学会におけるガイドライン化
- 有効性を示すことにより、持続的に機器調達
- より広く普及するために安価な新機種の開発